



市内イベントを随時更新中▶十和田市ブログ「駒の里から」  
http://citytowada.exblog.jp/

▶十和田市写真館 http://www.city.towada.lg.jp/youkoso/photo/top.htm

## 十和田バラ焼きを通して十和田市の文化を学ぶ 十和田バラ焼キッズ入校式

7月17日、市立三本木小学校（小向秀男校長）で、十和田バラ焼キッズ入校式が開催されました。これは、十和田バラ焼きゼミナール（木村長敏学長）が、市内小学校を対象に行うもので同校が初の入校となります。入校式では、木村学長から児童を代表して繫皓介くん（6年生）に入校許可書が手渡されました。

今後、秋に5年生の児童がバラ焼きで使うタマネギを市内の畑に植える予定です。



児童を代表し「十和田バラ焼きの食文化を学び、十和田市を誇りに思う」と、元気よく宣誓した繫くん

## 十和田工業高校創立50周年を記念して 三沢商業高校らと運動部交流試合

6月30日、県立十和田工業高校（高橋和雄校長）で創立50周年を記念して運動部交流試合が行われ、三沢商業高校や八戸工業高校、八戸工業大学第一高校が招待され、ラグビーや卓球、バレーボール、剣道などの試合が行われました。

試合では、多くの生徒や保護者が応援に訪れ、選手たちは日頃の練習の成果を発揮し、白熱した好試合を見せていました。



ラグビーは三沢商業高校と対戦。トライ目指して必死に前へ前へ進みました

## サッカー日本代表OB選手が十和田に 市選抜チームと対戦

7月15日、高森山総合運動公園で球技場落成記念として松木安太郎さんなどサッカー日本代表OB選手21人を招き、サッカー教室と市選抜チームとの試合が行われました。サッカー教室に参加した和島晴輝くん（南小5年）は「プレーは参考になった。日本代表OBの選手たちのようになりたい」と話しました。試合では、日本代表OB選手らが随所に洗練されたプロの技を披露し、観客を魅了していました。



往年の技が光り、5対0で日本代表OB選手チームが圧勝しました。写真中央は木村和司さん

## 60mのり巻き作りに挑戦 とわだストリートフェスタ 2012

6月24日、旧国道4号八丁目街区で十和田市商店街連合会が主催し、「とわだストリートフェスタ 2012」が開催されました。会場では、昨年より5m長い60mの「のり巻き作り」が行われ、参加者は十和田寿司組合会員の指導を受けながらたまご焼き、かんぴょうなどの具材を盛り付け、一斉に巻き上げました。沼田涼菜さん（北園小5年）は、「楽しかった。また来年も参加したい」と笑顔で話しました。



きゅうりなどの具材をきれいに並べました

## 夏の十和田湖一大イベント 十和田湖湖水まつり

7月14・15日、十和田湖畔休屋で第47回十和田湖湖水まつりが行われました。14日に乙女の像前で行われた開会式では、湖畔の乙女を歌い継ぐ会の皆さんが合唱したほか、市立十和田湖小学校（山内和彦校長）の児童の皆さんが十和田湖伝説「南祖の坊と八太郎」の劇を披露しました。まつりでは、イワナのつかみ取りなど多彩なイベントが行われたほか、夜にはよさこい演舞と花火の打ち上げが行われ、まつりに一層華を添えていました。



劇を披露した十和田湖小学校の児童の皆さん

## 新鮮な野菜や果物を産地直送 とわだ軽トラ市マルシェ

7月14日、元町ショッピングセンター駐車場で、とわだ軽トラ市マルシェが行われました。これは、とわだ軽トラ市実行委員会（山端政博実行委員長）が行ったもので今年度2回目の開催となります。

会場には市内農家や県立三本木農業高校の生徒など26店舗が軒を連ね、大根やトマトなどの新鮮な野菜のほか、手作りパン、衣料品などが販売されました。軽トラ市は、10月まで毎月第2土曜日午前7時から開催されます。



旬な採れたて野菜が並び、市民らが買い求めていました

## Pick up

### 震災後、初の農家生活体験を受け入れ 台湾の中学生が農業体験を満喫

7月3日から5日にかけて、台湾の高雄市立陽明国民中学の生徒ら28人が本市を訪れ、農家に宿泊しながら農業などを体験しました。

入村式では小山田市長が「十和田市では貴重な体験ができます。3日間の体験を通じて皆さんの一生の思い出にしてほしい」と歓迎の言葉を述べました。

入村式後には農家7戸に分かれ、農家生活をスタート。各農家でニンニクやしいたけの収穫などを体験しました。ニンニク掘りを初めて体験した鄭至涵さん（2年生）は「途中で腰が痛くなったりして疲れたけど、とても楽しかった。いい経験になった」と笑顔を見せていました。

離村式では、短いながらもともに暮らした十和田のお父さん、お母さんらと別れを惜しむ姿が見られました。

また、市立甲東中学校（澤橋登校長）で開かれた交流会では、スポーツや七夕の飾り付けを一緒に行い、交流を深めていました。大平奈央さん（1年生）は「言葉が通じなくても身振り手振りで伝えることができ、いい思い出になった」と話していました。

陽明国民中学の皆さんは、十和田でのたくさんの思い出を胸に台湾への帰路に就きました。



1 夢中になってニンニクをたくさん掘りました  
2 浴衣に着替えて茶道を体験。慣れない正座に悪戦苦闘  
3 別れ一見えなくなるまで手を振り続けました



4 5 6 甲東中学校での交流会。言葉が通じなくても世界は一つ